

コスメの“成分”にこだわれば、の終着駅!

軟水→肌柔らかく!
硬水→肌引き締め!

水が変わればキレイが変わる

水は生きていくうえで欠かせないもの。コスメの世界でも水にこだわったものが続々と発売になり、大きな話題に。ひと口に“水”と言っても、それぞれのコスメに込められた水のストーリーやパワーは多種多様。知ればアナタも水の虜に!!

撮影/小川剛 取材・文/よした澄絵

「大きく分けてふたつ、肌を柔らかくして汚れを落としやすくする作用として肌を引き締める作用です。ただ、水の性質は、水そのものよりも水に溶けているもので変わるので、水はさまざまな成分を溶かすというのが一番大きな役割と言えますね。」
それなら、水そのものはあまり重要ではないということ...!?
「そういうわけではありません。水にこだわったコスメに使用される水には、湧いた場所や不思議な言い伝えなど、さまざまなストーリーがあります。メーカーはそれぞれの水のイメージを生かした処方でもコスメを開発するケースが多いので、どの水に効果があるか? という考え方もりもどの水が好き? という考え方で選ぶと良いと思いますよ。」

産地、言い伝え...水の持つストーリーに注目!
水にこだわったコスメがさまざまなメーカーから発売されているのは、どういう背景があるのでしょうか?
「オーガニックブームに代表されるように、今は自然の中から良いものを選ぶというのがトレンドとなっています。この流れの中で、エコロジーの原点である水への注目が高まっているのでしよう(岡部さん)。」
では、水は肌に対してどのような働きをするのでしょうか?
「大きく分けてふたつ、肌を柔らかくして汚れを落としやすくする作用として肌を引き締める作用です。ただ、水の性質は、水そのものよりも水に溶けているもので変わるので、水はさまざまな成分を溶かすというのが一番大きな役割と言えますね。」

教えてくれたのは...



ビューティサイエンティスト
岡部美代治さん
コーセーの研究所を経て、アルビオンにて商品開発、マーケティングに従事し、独立。現在は美容コンサルタントとして多方面で活躍中。「サイエンティストの仕事の原点として、実は“水”の研究もありました」と語る。

教えてくれたのは...



水科学総合研究所
松井英男所長
体内の水分子を測定したり、ガンの画像診断でも水分子に注目。その他、機能水による病気の治療や予防など、主に医療分野での水科学を研究。

知っているようで実は知らない!! 水の基礎知識

身近にありながらも、改めて「水って何?」と考えると実はよくわからないという人も多いのでは...!?
まずは水について基本のキからお勉強しましょう!

水にこだわったコスメ Topics

機能水を使ったもの、ミネラルウォーター入りのベースなど、さまざまなこだわりが!

Topics 1

電気分解でできる腐らないイオン水

純水を電気分解した際にできる特別なイオン水「エマウォーター」。殺菌、保湿などの効果があり、医療現場でも使われる水をコスメにイン。腐らないという特性を活かして防腐剤フリーを実現。orp TOKYO アクア チャージローション 150ml ¥1,980/セルメディ



Topics 2

ミネラルファンデにはミネラルウォーター!

肌荒れを防止するミネラルパウダー、毛穴をカバーする微細ミネラルパール、そして水は100%ミネラルウォーターでミネラルづくし! インテグレート ミネラルウォーターファンデーション SPF23+PA++ 30ml 全4色 ¥1,365(編集部調べ)/資生堂



Topics 3

確かな紫外線防止効果と肌への優しさを両立

富士山麓のミネラルウォーターをベースに使用することで、高いUV効果でありながら穏やかで優しい使い心地を実現。すべすべの肌触りで石けんで落とせるのも◎。専科 ミネラルウォーターでつくったUVジェル SPF50+ PA+++ 40ml ¥698(編集部調べ)/資生堂



4 水にもいろいろな種類がある!

「自然の水は淡水、海水の2種類に大別されます。最近では人工的な処理を施した機能水もあり、これはアルカリ性・酸性などの分類もあります。他には、含まれるミネラルの量で硬水、軟水という分け方も(松井さん)。採取する場所によって水の性質もさまざま。「軟水は肌を柔らかく、硬水は肌を引き締める」と一般的に言われています(岡部さん)。」



湧き水は地下から自然に湧き上がる水のこと。(画像提供/ピリカインターナショナル)



南極やアイスランドの水の中にはミネラルが多く含まれる。(画像提供/ノンストレス)

温度、成分等の条件を満たした湧き水のことを温泉と呼ぶ。(画像提供/リプラス)

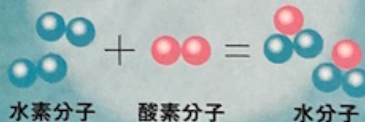


5 ズバリ“良い水”とは?

「当たり前ですが、キレイ=毒(環境ホルモン、病原菌など)が入っていないことが大前提です(松井さん)。「化粧品に配合される水で言えば、どれが良い悪いではなく、自分の好みかどうかという選び方」(岡部さん)。」

1 水とは何か?

「水素(H)と酸素(O)で構成される化合物で、化学式はH₂O。地球にはその表面の3分の2を占める海を中心に、14億立方メートルの水が、水・氷・水蒸気と形を変えながら存在しています(松井さん)。」



2 水は身体でどんな働きをするの?

「人体の約60%が水分。水は熱しやすく冷めにくい性質があり、人体が環境の影響をダイレクトに受けにくいためのかんしょう剤になります。また、体内で栄養や酸素を運搬するにも必要不可欠なものです(松井さん)。」

3 肌と水は密接な関係にある!

「1日に人間が摂取する水分量は約2.5リットル。口から摂取した水は約10分で肌に届きます。化粧品などから肌に水分を与えるのも大事ですが、こまめな水分摂取で肌へ新鮮な水を届けることも忘れずに(松井さん)。」